

## 有限会社武井工業所 (タケイ工房)

TEL.03-3801-0290 FAX.03-3801-8112  
URL <https://takei-k.com>

代表者: 代表取締役 武井 秀夫  
所在地: 〒116-0002 荒川区荒川3-31-3  
資本金: 300万円  
従業員: 3人

創業年: 昭和36年  
業種: 板金加工業  
事業内容: 医療用機器・用品、理化学機器、  
精密機械、健康器具、  
介護製品の製造販売



武井 秀夫  
代表取締役

### 「B to C」市場で活路を開く

創業は昭和36年。創業者である先代が医療機器の鋳造製造を開始して以降、医療機器関連のモノづくりを多く手掛け、その後理化学機器分野にも参入して、精密な板金プレス加工を得意とする事業基盤を固めた。

昭和55年に、現・代表取締役の武井秀夫氏が2代目として経営を引き継ぐ。その頃から業事法の改正などの影響で、医療機器業界への新規参入が増えて競争が激化。既存市場だけでは業容縮小を余儀なくされていたため、得意な技術と設備を活かした製品開発に力を入れ、個人客が対象の「B to C」(一般消費者向け)市場に本格的に進出して、活路を開いていった。現在では、受注生産品は武井工業所、自社開発製品はタケイ工房として使い分けている。

### 暮らしに便利な製品を追求

同社の製品づくりは、家業とする板金プレス加工技術を磨き、医療機器・理化学機器関連の製作で培った「精密加工、精密仕上げ」がモットー。その職人道に徹し、「世の中のために少しでも貢献できる製品をつくる」との気概で、家庭で使われるB to C製品を次々と開発・販売している。

中でも、ステンレス製「名刺入れ」や食卓用ナイフ・スプーン・フォークを置く銅製「カトラリーレスト」は、ネット販売を中心に全国販売されており、リピーターからの評価が高い。特に「名刺入れ」は、開くと片方が鏡面になっている点が評価され、女性よりも男性からの注文が多い。

### ヒット商品！立ち上がり手すり「立つ之助」

平成23年、MACCプロジェクトの分科会「健康福祉ビジネス研究会」に参加してからは、高齢化時代に対応した製品開発に注力。首都大学東京・健康福祉学部の新田収博士の協力を得て、ベッド・寝床からの起き上がりを補助する介護手すり「立つ之助」を開発。スチールを使用し、人の体重がかかっても倒れにくい構造のため安全性に優れ、工事不要な点、持ち手にグリップを付けたり、板の上に敷くマットをサービスマンで付けるなどのちょっとした工夫が評価されて、年々売り上げが伸びている。

最近では、使用者の利便性を考慮し、「立つ之助」シリーズのバリエーションを拡充。全国各地の介護施設や一般家庭から注文が相次いでおり、ヒット商品となっている。



立つ之助「ラブ」



立つ之助「元気」

### 手づくり品の「工房」を指向

子息の武井昭彦氏への事業承継の準備も着々と進めている。3代目となる予定の昭彦氏はMACC会員企業の若手経営者の活動や、公的機関などの研修講座に積極的に参加し、自社の経営計画を策定して、平成27年4月に東京都の経営革新計画の認定も受けた。

将来も、先代からの「絶対に手を抜かない製品づくり」を基本に据えて、暮らしに便利なモノを追求し、「手づくり品を創る職人の工房」を目指す。



三代目 武井 昭彦氏

### 「絶対に手を抜かない」職人道



医療・理化学分野の機器製作から技術を積み重ねてきた板金加工事業者である。家族経営だが、「精密加工、精密仕上げ」をモットーに、職人道に徹した製品づくりが持ち味。提供する製品は、暮らしに役立つ便利なモノが主体で、すべて自社開発のオリジナル製品。今後さらに、手づくり品の工房を充実し、一般消費者向けの「BtoC」市場でジャンプを狙う。

#### 主な保有設備

タレットパンチプレス 1台、30tおよび15t プレス機 各1台、ベンダー 1台、4.5t シャリング 1台、バリ取り機 1台、溶接機 2台

#### 主な認証・実績等

- ・平成24年度 MACC 感謝状贈呈
- ・登録商標「立つ之助」第5493620号